



宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

2021 4 月

常設展示室

宮永岳彦と旅にでる

2020年11月27日(金) ~ 2021年6月27日(日)

▶▶▶ 展示作品より今月の一点 ▶▶▶

《 『とうきょう広報』表紙画 》



大きな桜の木と小さな橋が遠近を際立たせ、小さなキャンバスに奥行きのある深い景観が表現されています。

のどかな春の情景が描かれたこの作品ですが、残念ながら、いつ、どの場所を描いたのかといった記録が残されていません。

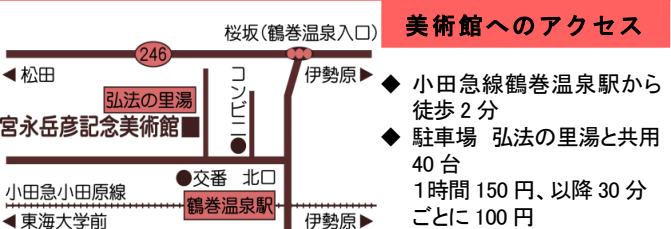
宮永は、『とうきょう広報』の表紙画の取材

のため、東京の様々な場所を訪れており、1965年(昭和40年)に開園した東京葛飾の水元公園にも何度も出かけています。そして、一面に咲き誇る花しょうぶや雨に濡れる水元大橋を描いていますが、情緒のある木橋の佇まいが、この桜の絵の橋とよく似ています。

『とうきょう広報』は、都政の情報だけでなく、東京の街並みや都民の暮らしぶりが写真とともに掲載された東京都発行の月刊誌でした。1960年代から70年代初めにかけて、宮永は、その表紙画に、東京の見せる豊かな表情を描きました。

表紙原画 制作年不明 41.0×32.0

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

市民ギャラリーのご案内

入場無料

水彩スケッチ四季

3月31日(水)~4月3日(土)

10:30~16:30 (初日13:00から 最終日16:00まで)

明るく爽やかな水彩画です。岡田ユキオ先生指導の下、海外や日本の風景・花など約40点を展示いたします。

秦野スケッチ会

4月29日(木・祝)~5月5日(水・祝)

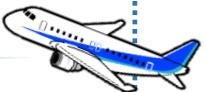
10:00~17:30 (初日13:00から 最終日15:00まで)

美術鑑賞は脳を活性化するとか。私達一年のスケッチ、静物などです。それぞれ個性ある絵です。

- ※ 4月1日(木)から10月分までの予約を受け付けています。
- ※ 新型コロナウイルスに関わる社会事情により、催し物の予定が急遽変更になる場合があります。ご来館の際は、お気軽に美術館にお問い合わせください。

宮永が、全日空の機内誌の『翼の王国』に寄せた挿絵と文章をご紹介します。

フライトギャラリー



春を告げる鐘 (札幌時計台)
(翼の王国46号 昭和48年4月より)

春は、北海道でなくとも待ち遠しい季節である。雪の北海道からのイメージ・チェンジ、街中に咲きにおうアカシヤの花。札幌は緑の多い街である。いたるところ、グリーンベルトに咲きはじめるチューリップ。花がいつせいに咲きそろそろの雰囲気は、東京あたりの人には、味わうことのできない一瞬ではなからうか。

冬の北海道の魅力、さわやかカントリー北海道にあって、花咲く北海道は、また格別楽しい季節である。その楽しい季節の札幌市の中で、いちばん観光客の足を止めるところは、北海道の歴史と生立ちの象徴ともいべき、この小塔であろう。騒音の激しい街の中で、春を告げる自鳴鐘(じめいしょう)がなり響くのも、また、ロマンチックな街である。



4月の休館日: 5日(月) 12日(月) 19日(月) 26日(月)